

普及活動情勢報告（令和6年9月分）

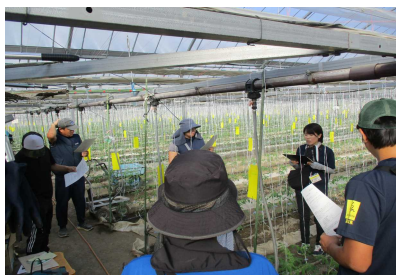
高吾農業改良普及所

ラジコン草刈り機の茶園再生への活用の検討 ～ラジコン草刈り機の実演会開催～



8月23日、茶業試験場が茶園の再生に向けたラジコン草刈り機の実演会を佐川町の茶園で開催し、茶栽培農家5名とJA、仁淀川町役場、普及所が参加しました。このラジコン草刈り機は除草に加えて5cm程度の木の幹の伐採にも対応できる能力があることから、茶園の若返りを行う「台切り」に活用できないか普及所が茶試と協議して検討することになったものです。今回の実演ではラジコン草刈り機が茶樹を力強く刈り込んでいき、茶業試験場の研究員も「茶樹の台切りに使えそう」という評価をしていました。また茶生産農家からは機械の改良やこれに係る部品の交換費用等に関する質問が出ていました。この方法が確立すれば茶園の再生が大きく進むことから、普及所も具体的な導入方法の提案や導入後の運営など茶の産地再生に向けた取り組みを関係機関と連携してすすめていきます。

高糖度トマト新規就農者の安定生産に向けて ～現地検討会を開催～



JA高知県日高支所ハウス園芸部では9月6日に新規就農者等を対象にトマトの現地検討会を開催し、6戸（9名）が参加しました。普及所からは生育診断に基づく定植後のかん水管理や追肥のタイミング、ホルモン処理、害虫防除等についての栽培講習を行いました。新規就農者は「今のかん水量は適量か」、「茎の太さは適量か」などの質問を出しながら、ベテラン農家と意見交換を活発にしていました。普及所はこれからも個別巡回や定期的な栽培講習を通して、新規就農者の促成高糖度トマトの安定生産を図っていきます。

新高梨の今年の状況は？ ～新高梨の査定会を開催～



JA高知県佐川支所果樹部会と越知町梨生産組合が9月12日と13日にそれぞれ新高梨の査定会を開催し、合わせて生産者12名が参加しました。普及所からは、今年の生育状況や積算温度をもとにした収穫時期の目安、カメムシ防除について説明を行いました。また、その場で果実分析を行い、果実の大きさや糖度、みつ症の発生程度などを確認しました。生産者からは、「今年はカメムシの被害果が多い」といった声やみつ症の発生を心配する声が聞かれました。また、果実分析では果肉が固いが糖度が高く、果実内部が想像よりも熟していることに驚く声が多数聞かれました。普及所は、これからも個別巡回や果実分析を通して、梨の適期収穫に向けた情報提供を行い、梨の生産安定を図っていきます。